

質問 安全性評価レベル1の町民体育館の対策は

町長 最優先施設として認識しており令和7年以降に計画



内田 裕紀 議員

質問 昨年10月に公表された町立体育館の耐震診断の結果はレベル1であり危険性が高いとのことである。また仁多中学校の裏山にはレッドゾーン(土砂災害特別警戒区域)があり、こちらでも危険性が高いと認められた区域である。そこで教育施設の安全性の基準について、どういった考えをもって対応されるのか伺う。

町長 教育施設の耐震診断の結果から、対策が必要な最優先施設として認識しており、令和7年以降での対応を計画している。またレッドゾーンについては、なるべく早く対策工事を進めていく。

質問 答弁から耐震対策は3年以降でもよいと認識した。また島根県地震データベースによると今の

ところ活断層は見当たらない。耐震診断の結果は、布勢小学校はレベル2、また三成小学校はレベル1である。仁多中学校のレッドゾーンも含め、財政状況も考慮し、個々の計画があれば伺う。

町長 布勢小学校と三成小学校の校舎については、建設地が決定次第、代替校舎の設置を進めたい。

仁多地域統合小学校建設費 (概算)

単位：万円

内 容	三成小敷地	仁多中隣接地
校舎建設費	172,100	172,100
移転補償・乗降場整備	20,000	0
校舎・プール解体費	14,100	14,100
仁多中のり面整備費	20,000	48,700
代替校舎(三成小)	25,000	13,500
(仁多中技術室移動)	0	7,000
屋内運動場整備費(町民体育館代替)	66,000	66,000
	(100,000)	(100,000)
プール整備費	(20,000)	(20,000)
(利用移動)	スクールバス	徒歩
代替校舎(布勢小)	20,000	20,000
概算事業費(現状)	251,200	314,400
概算事業費(安全対策)	391,200	395,400
現校舎を活用	△20,000	△33,500
概算事業費(代替校舎なし)	371,200	361,900

学校再編推進課が提出した概算事業費
 安全対策を含めた概算事業費
 ※概算事業費であり、補助金、起債等を考慮していない

質問 本町の後期高齢者医療の一人当たりの医療費は84万円、介護保険の介護サービス費は171万円である。人生100年時代の将来を見据えた医療費、介護サービス費の軽減を図る必要がある。かかりつけ医を持つことと訪問診療の必要性について伺う。

健康福祉課長 地域包括ケアを実現するためにも身近で頼りになるかかりつけ医を持つことの重要性和、奥出雲病院において、訪問診療や訪問介護を一体的に提供できる在宅診療センターを整備した。このことにより利用件数が着実に増えている。

地域医療の現状と今後の展望について

提案 このことは現在協議中の仁多地域統合小学校の建設についても関連があるので意見する。この建設事業は本町にとって「100

年の大計」といっていいほどかなりの建設費が見込まれる。先の学校再編推進課の概算建設費の説明資料を基に体育館やレッドゾーンの対策費の概算を加え、比較表を作成した。ただ残念なのは跡地の活用イメージ図がまだ提案できなかったことだ。検討されたい。